

研究会「社会的な困難に直面するユーザーを支えるデザイン」

CPD 申請中

本研究会では特に経済的な問題を持ち、かつ身体や精神に困難な状況にがあることにより日常生活を送ることが困難な人たちを「ユーザー」ととらえ、その中でどのようなニーズが生じているのか、またそのニーズに応えるために現在行われているソフト・ハード両面からの支援を検討することを目的とする。まず大阪市西成釜ヶ崎地域にて、生活保護法に基づく救護施設等の見学を行う。この見学会を踏まえ、釜ヶ崎地域にて実践的研究活動を行う研究者と居住支援を行う NPO 法人代表、公的生活保護施設の研究者、釜ヶ崎地域のみならず海外でも貧困層への住宅支援を研究する研究者による講演とディスカッションを行う。これらを併せ、社会的な困難に直面する前述のユーザーとはそもそもどのような人なのかを把握し、建築計画の視点、特に居住環境の面から、求められる具体的なハード・ソフト面での支援のかたちを考える。また前日にはオプションの見学会も開催する。

主催 建築計画委員会 計画基礎運営委員会
ユーザー・オリエンテッド・デザイン小委員会

日時 6月30日(日) 10時～17時

会場 大阪市立大学 都市研究プラザ 西成プラザ

内容 見学会「無料低額宿泊所・住宅型有料老人ホーム」(10:00～12:30)
(運営; NPO 大東ネットワーク事業団、(社団) 近畿パーソナルサポート協会)
研究会「社会的な困難に直面するユーザーを支えるデザイン」(14:00～17:00)
司会: 富永 哲雄 (大阪市立大学)

- ・主旨説明: 富永 哲雄 (前掲)
- ・講演1 「釜ヶ崎地域の現状と社会的困難者への支援のあり方」
: 水内 俊雄 (大阪市立大学)
- ・講演2 「民間事業者としての社会的困難者への支援」
: 小林 真 (NPO 大東ネットワーク事業団)
- ・講演3 「公的機関の社会的困難者への支援のあり方」
: 葛西 リサ (大阪市立大学)
- ・講演4 「釜ヶ崎地域の歴史的変遷と、世界的趨勢の中での社会的困難への支援」: 阪東 美智子 (保健医療科学院)
- ・ディスカッション (講演者+司会)
- ・まとめ: 西出 和彦 (東京大学)

***オプション見学会(定員40名・オプション見学会のみの参加は原則受け付けておりません)**

2013年6月29日(土) 14:00～17:00 見学会「釜ヶ崎地域」

- ・西成プラザにて釜ヶ崎地域の概要説明 (講師: 富永哲雄)
- ・釜ヶ崎地域見学 (大阪自彊館等)

定員 40名（申込み先着順）

参加費 会 員 2,500円 会員外 3,500円 学生 1,000円（資料代含む・当日申受け）

申込方法：催し物名称、氏名、勤務先、所属、電話番号、E-mail アドレスを明記のうえ E-mail
でお申込み下さい。（定員に達した場合のみお断りの方にご連絡いたします）

申込み・問合せ：富永（大阪市立大学）E-mail：tetuo.tominaga1987@gmail.com